

内科検診のお知らせ

5月8日（1・2・3年生）、5月19日（4・5・6年生）に内科検診を行います。検診方法等について事前に確認し、不安なことなどがある場合は、事前に保健室までご相談ください。

目的

児童自らが自己の健康状態を具体的に知り、病気の予防や治療に対する必要性を理解し、日常生活を振り返り、健康な生活の実践への意欲を高める。

内科検診によって発見される異常や疾病の例

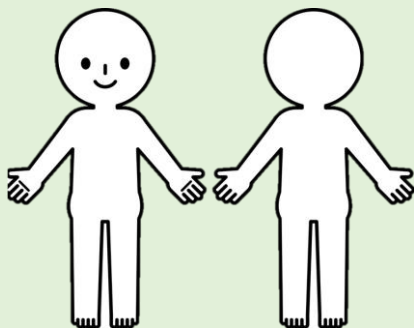
肥満・やせ

貧血

バセドウ病

心雑音・不整脈

アトピー性皮膚炎



脱毛症

いぼ・疥癬

にきび・母斑

脊柱側弯症

貧血の有無の判定は、医師の視診のみではなく血液検査等を行う必要があります。

【学校医紹介】



石塚 一郎 先生
長年本校の学校医として、
疾病の早期発見や運動行
事における健康管理などお力
添えいただいています。

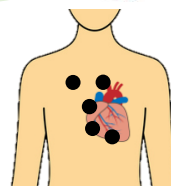
検診方法

- 【問診】保健調査結果などをもとに、必要に応じて健康状態の確認を行います。
- 【視診】皮膚の状態や脊柱側弯症等の異常の有無について、全身を確認します。
- 【聴診】心音や呼吸音を確認します。
- 【触診】背骨の湾曲や肩の高さ、皮疹の硬さ、甲状腺の腫れ方などを確認します。

脊柱側弯症等が疑われる
場合は、前屈などにより形状
を確認することがあります。



- ・首元が衣服等で隠れて診にくい場合、甲状腺の状態が確認できない場合があります。
- ・聴診は、聴診器を皮膚に直接あてて行います。スポーツタイプのように皮膚を覆う面積が多い下着やレース・刺繍など装飾の多い下着の場合、皮膚と衣服等がこすれる音の影響や、心音を聴くポイントに聴診器を当てられず、心雑音や呼吸音を十分に聴診できず、病気を見逃してしまう可能性があります。



聴診器を当てる場所の例

プライバシー等への配慮

- 【検診時の服装】 上：体育着 または 権小Tシャツ 下：ハーフパンツ
※お願い：男女ともに養護教諭が1人ずつ上のシャツ・下着をまくり上げて、学校医が聴診をします。
そのため、ぴったりとした下着ではなく、上げやすいゆったりめの下着を着用させてください。
- 【検診時の配慮】
 - ・学校医による聴診・視診の直前まで、不必要な露出を避けるよう配慮します。
 - ・男女ともに、個別の検診スペースを確保し、周囲から見えないよう配慮します。
 - また、距離を確保し検診時の会話などが周囲に聞こえないよう配慮します。
 - ・養護教諭が記録及び補助として付き添い、相談しやすい雰囲気づくりに努めます。

その他

- ・検診後、所見があった場合は7日以内に結果をお知らせします。その際は、できるだけ速やかに医療機関等を受診することをお勧めします。受診した際は、学校までお知らせください。
- ・医療機関に報告書への記入を依頼するに伴い、文書料等が発生する場合があります、予めご承知おきください。また、そのような場合には、保健室へ事前にご相談ください。